

平成20年度JCOMMデザイン賞

ふくいのりのりマップをはじめとするホジロバ交通情報関連ツール一式

特定非営利活動法人 ふくい路面電車とまちづくりの会

特定非営利活動法人 ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）は、2001.2に発足し、2005.4にはNPO法人となり、豊かで夢のある未来にむけて、人々が安心して利用できる路面電車やバスなどの『ホジロバ交通』を活かしたまちづくりのために、自ら考え、楽しく行動することにより、社会に貢献できるようにいろいろな活動を行っています。

R A I L W A Y (路) 鉄道・路面電車

O M U N I B U S (バ) バス

B I C Y C L E (自) 自転車

W A L K (歩) 徒歩

= 人優先のホジロバ(歩・自・路・バ)交通とまちづくり



【注】ホジロバ交通：歩行者・自転車・路面電車・バスなど、
環境にやさしい公共交通手段をあらゆる造語。

また、ROBAの4つのNPO事業の一つである、「(2)路面電車・バス・地方鉄道等、公共交通の活性化に関する普及・啓蒙等の諸事業」として、これらのホジロバ交通情報関連ツールを発行しています。

出かけるときには、まずクルマに乗ってそれから行き先を考え、目的地へのルートはすべてカーナビにお任せだという 福井都市圏は、世帯あたり車保有台数全国一、移動トリップの76.6%がクルマで、バス鉄道は2.6%という超車社会です。そのような交通事情の福井において、公共交通利用者の移動を支援するには「家を出るまえから帰宅するまで」の一連の行動を総合的にとらえて公共交通情報を作成する必要があります。次のような考え方で一連のホジロバ交通情報関連ツールをデザインしています。

マップは人の行動や生活を変える力を持つ！

人は行動するとき、目的地へのもっとも便利な移動手段を選択します。日ごろはクルマであっても時には電車バスに、クルマを降りれば徒歩や自転車に。人の行動を支援するための情報を満載したホジロバマップがあれば、バスや電車が乗りやすく、使いやすくなり、その機会が増えます。

みんなの手にホジロバ交通マップがいきわたり、みんなの意識の中に便利なバスや電車がイメージされ、子どもやお年寄りが安心して、気軽に乗ってもらえるようになれば、行動範囲が広がり、生活にゆとりが生まれます。

ホジロバ交通情報関連ツール一式

- ・ A 「ふくい のりのりマップ」 (初版2003.4～ 第5版2007.12)
- ・ B 「ふくい のりのりマップmini」 (初版2003.4～ 第5版2007.12)
- ・ C 「ばすでんしゃねっと・ふくい」 (2004.4～ 現在随時更新)
- ・ D 「地域時刻表」 (2004.4～ 現在随時更新、一部の地域)
- ・ E 「ふくい りんりんマップ」 (初版2008.3)
- ・ F 「協働による公共交通とまちづくりのすすめ」 (2004.3、2005.8改訂版)

A 「ふくい のりのりマップ」(利用者がつくったバス電車マップ)(初版2003.4~第5版2007.12)

誰でも乗れてかつ定期運行されている、全ての路線バス、電車、コミュニティバス、乗合タクシーの情報を掲載することを基本としています。既存のバス事業者マップは各社ごとに作られており、路線系統とバス停の順番がわかるだけで、地理感のないものには全く使えないものでした。そのため、利用者の立場から使い勝手のよいバス電車マップを作る活動を開始し、維持更新費用を確保するために、自費出版に踏み切りました。通常自主イベント使用、販売を含めて年間6,000部ほどの利用があります。(販売は、団体のまとめ買いのほか、バスターミナル、電車站、県内の主な書店、県外書店2箇所にて200円で販売)

なお、バスマップを自費出版している岡山、広島、松江、福井などが主催し「全国バスマップサミット」が2003年より毎回開催されており、全国各地の市民団体が情報交換する場となっており、マップの作成や普及に貢献している。全国のバスマップ作成年数は年々増加しており(福井は全県版も)、2008年第6回新潟大会が11月に開催されます。

「家を出るまえから帰宅するまで」の一連の行動を総合的にとらえて、次のようにデザインしました。

家を出てからではすでにクルマの鍵を手にしているため、家を出る前に行動計画が立てられることが基本であり、自宅と目的地が簡単に確認でき、いくつかの交通手段の中から最適な選択できるように、

- ・全ての交通手段が掲載されていること(以下のその他の条件も含め下図に都市基本図を使用した)
- ・地区名や主要な施設が色分けや記号化されていること、
- ・移動距離を容易に判読できるよう1km、又は10kmの基本距離単位のグリッドが引かれていること

自宅から駅(またはバス停)までの、徒歩・自転車あるいはクルマでのアクセス路が確認できること

駅までの交通手段、駅を降りてからの交通手段を、自転車やクルマを含めて選択するために必要な、駅の駐輪場・駐車場の有無が確認できること

乗車するバス電車路線の運行情報の概要が確認できること
(路線番号・名称、始発場所・行先、始発・終発時刻、沿線主要施設・地区名、便数(平日・土・日)、所要時間など、ただし詳細時刻表はWEBを併用【C】)

電車バスの乗継情報として、乗継駅、乗継可能な駅【D】が確認できること

到着駅から目的地までの交通手段、アクセス路が確認できること

今回は公共交通を利用する手段がなくて、クルマを利用した場合でも、道路マップとしての精度を持つこと

歩行者・自転車・路面電車・バス及びクルマのためのマップとして、常に携帯できるサイズであること

ひとめでホジロバマップだとわかる表紙のデザインがなされていること

版ごとに色を変えて最新版を確認できること

軽い遠視(老眼)の人でも読める文字サイズであること(初版の形状は保険証サイズとし、その後保険証もカード化されたため、3版より文字サイズをあまり変えずに、形状だけを小さくしています)

<http://f12.aaa.livedoor.jp/~norimap/>



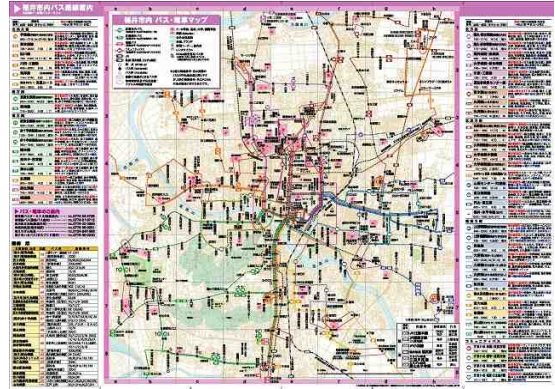
A 1 主要施設や乗換駅などの表示

路線番号	路線名	始発-終発	平(土)日(便)	所要分	起点→経由主要施設・地区名→終点[便]
美浜町					
165	菅浜線	6:41-19:16	5	48	教習所白木→美浜町丹生、水晶浜・竹波・ダイヤ浜・菅浜、佐田海水浴場、国立病院→JR教習駅
167	日向線	7:20-17:15	5	57	日向→YH美浜荘、レークセンター、町役場、佐田、国立病院、県合同庁舎、教習病院→JR教習駅
169	若狭線	7:08-16:13	5	34	(JR三方駅→美方高校)、JR美浜駅、農協前、佐田、国立病院、金山、県合同庁舎→JR教習駅
241	レインボー観光 新庄線	7:10-18:35	3	17	JR美浜駅→JA美浜、美浜中学校、弥美小学校、弥美神社、新庄小学校→新庄
731	コミュニティバス ブルースカイ号	7:10-17:20	4	53	丹生→北田、美浜町役場、JR美浜駅、美方高校→レイクヒルズ美方病院
若狭町 (2005.03.31 合併 三方町・上中町)					
169	若狭線	6:55-16:00	5	47	JR三方駅→三方石観音、JR気山駅、美方高校、JR美浜駅、国立病院、金山、県合同庁舎→JR教習駅
721	常神・三方線	12:00-18:10	5	60	JR三方駅→縄文口マンパーク、柳中・小分校、海釣り公園みかた、三方海中公園→常神
731	コミュニティバス ブルースカイ号	8:30-19:15	4	53	レイクヒルズ美方病院→美方高校、JR美浜駅、美浜町役場、北田→丹生

A 2 路線情報の掲載



A 3 (初版～第5版)



A 4 (部分：福井市街地)

B 「ふくい のりのりマップmini」 (初版2003.4～第5版2007.12)

より多くの人に利用してもらうために、廉価版のマップを作成しました。データは「ふくい のりのりマップ」と同じものを使用し、印刷工程を単純化して、もっとも手間のかかる「折り」を利用者が行えるようデザインしています。それによって費用は【A】の割程度とすることができました。

このツールは、現在、県内小中学校の社外活動を支援する総合学習用教材、高校新入生バスの電車通学定期購入時の案内資料、転入者へのクルマ購入までの公共交通案内資料として利用され、年間おおよそ5,000部の利用があります。とくに、小中学校の教材としての利用は、子どものときから公共交通機関を利用体験しておくことで、高校生や大人になってからも気軽に利用できるなどの効果が期待されます。

- ・廉価に提供できるよう印刷方法も工夫して、遠視でない人には文字サイズを小さくしてでも、よりコンパクトにデザインされていること
- ・大量に配布するために運びやすく (A4版) 使用するときには携帯しやすいこと (自分で折る)
- ・若者、子どもにはミニサイズ廉価版、大量に配りやすく自分で折りたたんで楽しい

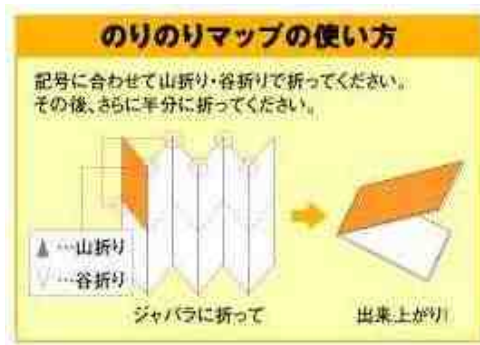
<http://f12.aaa.livedoor.jp/~norimap/>



B 1 (初版～第5版)



B 2 (折りたたんだもの)



B 3 (部分：折りかた)



B 4 (総合学習での使われている様子)

C 「ばすでんしゃねっと・ふくい」(2004.4～ 2008.4現在 随時更新)

地方都市の公共交通の課題である時刻表の携行はポケットサイズでは限界があるため、WEB版で提供することにして、現在、福井県バス協会のサイトを維持管理しています。

あわせて、県のカーセーブデーなどの公共交通の利用促進サイトや、観光情報などの行動を促すための情報サイトとのリンクを強化して、関連情報も一括して入手できるようにデザインしています。

<http://www3.ocn.ne.jp/~fba/>

また、路線や停留所の案内画像には、のりのりマップ【A】を活用しており、携行に便利なマップと、インターネットを連携させて、いろいろな需要に応じた豊富な情報提供を行っています。



C 1 トップページの部分拡大



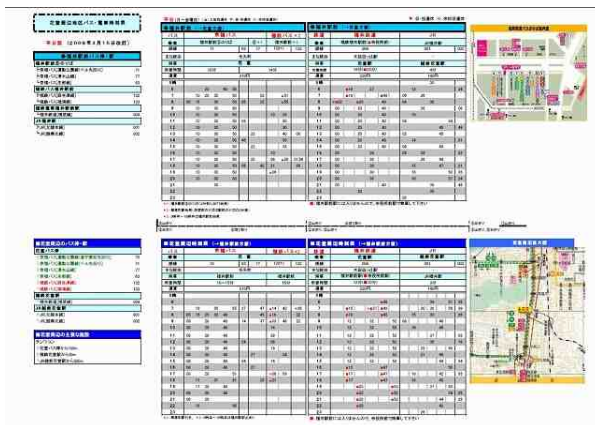
C 2 のりのりマップをベースに時刻案内

D 「地域時刻表」 (2004.4～ 2008.4現在 随時更新)

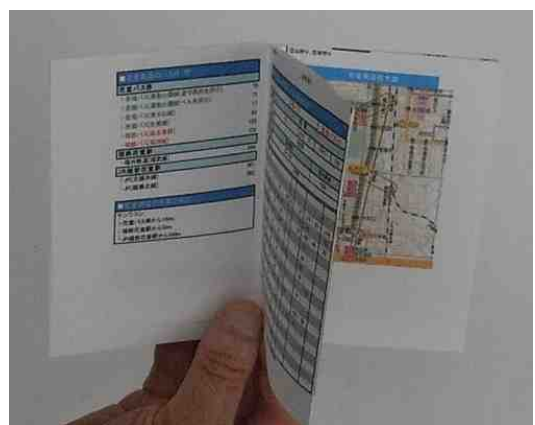
「家を出るまえから帰宅するまで」の時刻表に対する利用者の要求に応えるため、複数の選択肢となる路線や、乗車・降車駅をもつ地域については、現在51地域の時刻表をWEB版【C】内で作成し、維持管理しています。

- これらの地域周辺に居住者する人にとってはそこが出発地となり、逆にそこを来訪する人にとってはそこが目的地となるため、各地域と交通ターミナルを往復する複数交通手段を統合した時刻表とすること
- のりのりマップ【A】に挿んで持ち出すようデザインすること
(手順に従って切り目を入れて、自分で折りたためば、のりのりマップに挟んで持ち運べます)

http://www3.ocn.ne.jp/~fba/institution/area_concentration.html



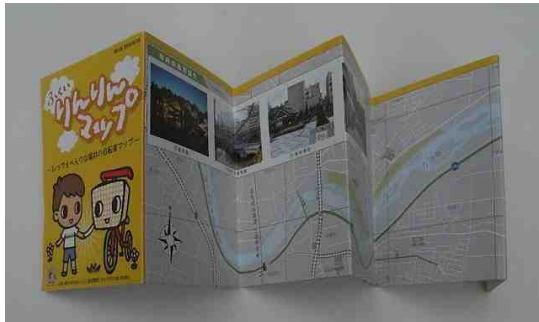
D 1 地域時刻表



D 2 折りたたんだところ

E 「ふくい りんりんマップ」(初版2008.3): のりのりマップの姉妹版

歩行者・自転車用のホジマップを「ふくい のりのりマップ」の姉妹版として作成し、両方のマップを併せてホジロバマップとして、同時に携帯できるようイメージや形状などについてデザインの統一を図りました。下図のように、のりのりマップに挟んで持ち運ぶことができます。



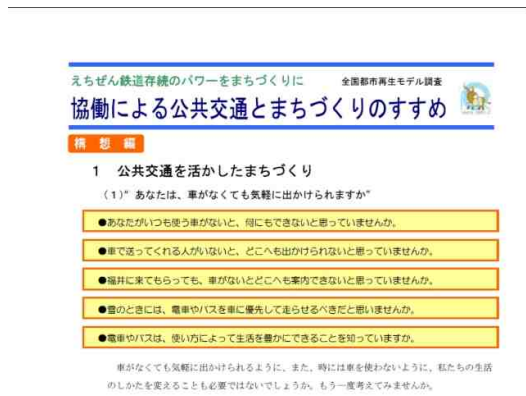
E 1 広げたところ



E 2 のりのりマップに挟んだところ

F 「協働による公共交通とまちづくりのすすめ」(2004.3、2005.8改訂版)

平成15年度全国都市再生モデル調査の成果をもとに、市民に日常生活行動を見直し、公共交通の利用を促すための、公共交通まちづくりガイドブックを作成し、ホジロバまちづくりキャラバン資料としています。サイズは持ち運びしやすいA5版。



F 1 表紙の一部



F 2 公共交通とまちづくりのツリー

対象ツールを使用したプロジェクトの概要

使用ツール

- ・ 福井都市圏PT調査プレTFP調査(主要バス路線沿線2004年10月) : A, C, D
- ・ 福井都市圏PT調査TFP調査(2005年10月~12月) : A, C
- ・ えちぜん鉄道新馬場設置に伴う周辺住民意識調査(2006年9月~2007年1月): A
- ・ えちぜん鉄道新馬場開設後利用実態調査(2007年9月~2008年1月) : D
- ・ JR福井駅前周辺来訪者MM調査(2007年9月~2008年1月) : B
- ・ 福井県内全小中学校の社外活動支援総合学習用教材(2004年4月~毎年) : B
- ・ 高校新入生バス電車通学定期購入時の案内資料(2006年3月~毎年) : B
- ・ 福井市転入者へのクルマ購入までの公共交通案内資料(2006年10月~現在): B
- ・ 福井市自転車利用環境整備計画に伴う利用促進資料(2008年3月) : E
- ・ ホジロバまちづくりキャラバン資料(2004年3月~現在) : B, D, E, F